



スポラですね。散らされていたユダヤ人の会衆、会堂が、全世界のあらゆるところにあります。そのいくつもあるところの一つのクレネ。クレネも大きい都市だったようです。アレキサンドリアがエジプト、隣のリビアの大きな町クレネ。そこからペンテコステの祭りにみんな集まってきていました。ローマもあったと思いますけれども、すべての国々から集まって来ていました。その人たちが自分たちの国の言葉で聞いて驚いているというような話でしたけど、その中にクレネ人もいます。

バルナバはキプロス人です。キプロスはクレネの北側にある島です。キプロス人のバルナバ。その最初のステパノの時に選ばれている7人の中には、アンテオケの改宗者ニコラオという人もいますから、アンテオケとも繋がっています。その人たちが、迫害されて散らされるということによって、広がっていった中で、このバルナバが最初に土地とか財産を全部売ってエルサレムの教会とひとつになっていますという代表的な人物として、ちょっとだけ出てきます。その人がアンテオケとエルサレムのやり取りをしています。この中にはニゲルと呼ばれるシメオンと言っている人がいます。これがぎっぎのクレネ人シモン。二グロのシモン。黒人だったのかな、そのシモンもアンテオケの教会にいました。

御霊が与えられたのですけれども、ユダヤ人もギリシャ人もないキリスト人の教会というのが、主のからだとして復活しましたというところなので、このアンテオケの教会からいろんな教会が作られていく。またアンテオケに戻ってきて、また別の所へ行ってというようなベースキャンプになっているところが、このアンテオケの教会です。

アンテオケの教会が始まる11章のところに、バルナバがサウロを連れに行くとかいう話があるのですが、この後にペテロの復活、アイネヤ、タビタの復活、ペテロが十字架にかかって復活するというような話が、ルカ福音書のイエス様と同じような話と混ざっていますよね。その混ざっているのを見てもアンテオケの教会というのが、エルサレムの教会が復活した新しい民、ユダヤ人からキリスト人へというのが、このアンテオケ教会のスタートというところだと思われまます。